

平成29年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立河北中学校 校長名 南方 邦昭 作成日 平成29年 4月21日

学校教育目標
『 正しく判断し ねばり強く実践する 心豊かで たくましい生徒の育成 』

家庭・地域との連携がよくとれている学校。

自ら学ぶ意欲を持ち、基礎的な学力を身につけ、心豊かでたくましい生徒の育成

教職員がお互いに協力し、助け合い、高めあえる学校

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
↓	↓	↓	↓
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地域から信頼される学校づくりに努める ○保護者や育友会との信頼関係を強化する。 ○情報を積極的に発信する。 ○コミュニティスクール実施に向けての取組を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員と生徒、生徒同士の人間関係作りに努める。 ○きめ細かな生徒指導に心がけ、指導体制の充実を図る。 ○道徳教育の指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導方法の工夫改善を図り基礎学力の充実に努める。 ○学力課題を明確にし、指導方法の工夫改善のための研修を深める。 ○特別支援教育を充実させる。 ○学習規律の遵守
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA総会時の授業参観だけでなく、きのくに学びの月間等にも授業参観を呼びかけ、学校を開放する。 ○学年だよりや学校だよりなどを発行し、できるだけ多くの情報を発信することに努める。 ○学校HPの更新 ○気がかりな生徒の状況等について、家庭との連絡をきめ細かく行う。 ○地域の各種団体や小学校との連携を今まで以上に強めていく。特に、防災教育と家庭科の授業体験を兼ねて行っている保育所との交流を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談の機会を中心に、また、授業時や昼食時、部活動時など、学校生活のあらゆる機会を捉えて、生徒理解に努める。 ○生徒指導委員会やいじめ不登校委員会、学年会で気にかかる生徒の情報交換を行い、共通理解を通じてきめの細かい対応に努める。 ○道徳教育推進教師を中心に、3年間を見通した実践が積み重ねられるよう取り組んでいく。 ○登校指導やあいさつ運動を通じ、教職員と生徒が学年を問わずにかかわる。 ○新年度へつなぐということから、3学期にも、教育相談の機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導（2年生数学）やTT指導（1年生英語）を通じ、わかる授業を実践し、学習規律の維持と生徒の学力向上を目指す。 ○放課後の補習（河北っ子）や夏季休業中の補習などを通じ、基礎学力の定着・充実を目指す取組を進める。 ○全国学力・学習状況調査等の結果分析を通じ、課題を明確にし、授業改善及び学びあいの授業づくりについての取組を進めていく。 ○職場体験等の体験活動を通じ、情報提供も含め、将来の進路選択に向けて、きめの細かい指導を行う。 ○学生ボランティアの活用をすすめる。 ○特別支援教育に係る研修を通じ、教員の理解を深める。